

2 0 四 建 1 9 7 号

平成20年10月14日

国土交通省 道路局長 様

高知県高岡郡四万十町長 前田 哲生



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

うえのことについて、別添のとおり「今後の道路行政についての意見・提案」
を提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①
高知県四万十町

道路特定財源の一般財源化については、必要な道路を整備するための財源を確保することがまずは最優先。受益者負担という合理的かつ公平性の観点から、道路整備が遅れている地方に対してより重点的に配分すべきである。

中期計画の策定については、地方の意見を十分に聴いた上で、降雨時等の通行規制解消や救急搬送時間短縮など、安全・安心を確保する事業評価を十分に反映させるべきである。

地方道路整備備臨時交付金及び貸付金制度を継続するために、新しい法整備が絶対必要。

中山間地域に脆弱な道路を抱える地方では、小規模な災害でも道路が寸断され集落が孤立し、救急車の走行や物資の搬送が困難となる道路がほとんどで、住民生活の安全・安心を確保するため、早期の道路整備が必要。

高知県の道路整備率は全国45位で四国では最下位となっているうえに、市町村が管理する市町村道は、著しく遅れており、早急な整備が今後の課題である。

道路等のインフラ整備が遅れていることが、企業誘致等に障害となっている。

地方の既存資源(四万十川・黒潮洗う海岸部)を活用し地域の特色を最大限に活かす地域づくりには道路網の整備が最優先
自然の恵みと人情豊かな町として、その恵みを最大限活用し「山と川と海、自然と人が元氣な四万十町」づくりにつなげる道路行政の実施
防災対策と橋梁長寿命化するための予防保全

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

高知県四万十町

四国8の字ネットワークの早期整備→異常気象や地震の被害を回避する代替道路・高齢化の進む地域の救急医療体制強化

四国8の字ネットワークの早期整備→住民のくらしの行動範囲が拡大し地域間交流が活発化

四国8の字ネットワークの早期整備→急カーブの影響が少なくなり、農水産物の商品価値が向上し鮮度が保たれ市場に損傷なく輸送可能
(地場産業の活性化)